

許せません！橋下市長の公約違反

敬老パスを守りましょう

日本共産党

敬老パス

予算6割削減



敬老パスの見直しでは、①JR・私鉄に拡大するが、利用の上限は年間2万円までで、半額の1万円は自己負担、②利用できるのは市営交通限定で半額自己負担にして48億円の予算を削減など、3案を提示しています。予算は最高で6割以上も削減されることになり、お年寄りいじめそのものです。

負担増

国保料値上げ 水道福祉減免廃止

負担増はくらしのあらゆる分野に。国保は料金抑制のための補助金を見直し、市独自の3割軽減は廃止し、出産一時金も引き下げ。国保料の大幅引き上げは確実です。

また上下水道料金の福祉減免は廃止し、保育料の軽減措置も見直し。市民サービスの削減と負担増はお年寄りにも子育て世代にも容赦なく襲ってきます。



統廃合

「大阪都」の先取り？ 身近な区民センター プールがなくなる！

現在、市内34カ所にある区民センターも、24カ所ある市民プールも、「大阪都」構想に合わせて9カ所に統廃合。こんなやり方では、区役所も図書館も、いずれ9カ所に統廃合され、市民サービスは大後退。地域のコミュニティーもバラバラにされてしまいます。

選挙中は「敬老パスはなくしません」「24区24色の大阪市」と言っていた橋下市長。しかし、橋下市長が提出した市政の「見直し」試案には、敬老パスの半額自己負担や市民プール・区民センターの統廃合など、公約に反して、市民のくらしを直撃するものばかり。「こんな無茶苦茶や」と悲鳴が上がっています。ごいっしよに撤回させましょう。



敬老パスは半額負担、国保料値上げ、市民プールは統廃合……
お年寄りも子どもも泣かす大改悪